



特集 誰もが心豊かに幸せに暮らすために

市民協働 × 男女共同参画

誰もが心豊かに幸せに暮らし続けられるまちをつくるために、私たちは年齢や性別に関わらず個人として尊重されるとともに、互いに助け合い、力を合わせてまちづくりを行うことが必要です。

本特集では、その実現のために本市が推進する「市民協働」と「男女共同参画」について紹介します。

市民と力をあわせて 協働のまちづくり

本市では、平成25年3月に市民協働推進計画を策定し、市や市民等が助け合い、力を合わせてまちづくりを進めるための施策を推進しています。

これまでに、「ひと」「お金」「場所」に関する取組を重点的に進めてきました。



協働のまちづくり人材養成講座

協働のまちづくりを主体的に進めていくことのできる市民を養成するための講座です。講義と実践的な学習を通じて、協働のまちづくりに必要な知識や技能を学ぶだけでなく、受講生同士の新たな仲間づくりの場となるよう実施し、平成25年度以降、

96人が受講しました。

平成26年度の講座修了者の中には、「市民協働サポーター」として、市や市民交流センターが実施するワークショップのファシリテーター（※1）や協働事業の企画・運営に携わり活躍している人もいます。

※1…グループの話し合いを円滑に進行し、成果が上がるように支援する役割を担う人。

市民活動補助金

地域の課題を解決するためには、市民活動団体の力が必要です。市民活動団体の活動を支援するために、平成25年度に創設しました。平成27年度までに23団体が補助金を活用して事業を行っています。

市民協働推進基金

市民活動補助金の財源として、平成25年度に市民協働推進基金を創設しました。この基金には、皆さんから寄せられた寄付金と同額を市が積み立てるマッチングギフト方式を採用し、平成27年度までに約96万円の寄付をいただきました。

皆さんの寄付が地域のために活動している市民活動団体を支援する資金となり、協働のまちづくりを進める力になります。

市民交流センター

世代を超えた市民相互の交流の促進と市民活動の活性化を図るための施設です。市民活動団体の支援に加え、ボランティア活動等を始めたいと思っている市民を支援する業務を行っている、現在350を超える団体が登録し、活動しています。

「市民活動を始めたけれど、どうすればいいのだろう?」、「新しい事業を始めたいけど、どこかに協力してくれる団体はないかな?」、そんな時は、気軽にスタッフに相談してください。

年度	平成25	平成26	平成27
利用者数	44,879人	43,813人	55,559人



市民交流センターのスタッフ

互いを尊重し
豊かに生きる

男女共同参画

男女が互いに自立した人間としてその人権を尊重し、共に責任を分かち合い、豊かな生き方のできる社会を実現するために必要なのが、男女共同参画。

平成11年に「男女共同参画社会基本法」が制定されたのを契機に、本市でも計画の策定や条例を整備。現在は、平成25年度にスタートした「第3次安城市男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画施策を推進しています。

第3次男女共同参画プラン

男女共同参画社会の実現を目指すため、4つの基本目標を定めています。

〈基本目標〉

- ①男女平等意識の促進
- ②男女共同参画社会の実践
- ③男女の自立と共生・参画を進める環境の整備
- ④DVの根絶

基本目標を達成するために取り組んでいる90の施策の中から、一部の施策とその進捗状況を紹介します。

エンパワーメント講座

男女共同参画の視点で自ら考え、発言し、行動することができ、人材を育成する講座。今年で15年目を迎えます。講座では、身近な法律やメディア（テレビや新聞等）を読み解く力について学びます。現在では、計画から運営まで講座修了生が携わり、スタッフとして活躍。さらに審議会等に参加している人もいます。



講座スタッフの声

身近な話題をテーマにした講義が多く、講座が進むにつれ、テレビや新聞で目にする言葉の意味が分かるようになりました。受講をきっかけに、今までニュース等でもそれほど気が留めていなかったことが気になるようになり、友人とも時事問題について話す機会が増えました。断片的な知識のかけらがつながり理解が深まることに、おもしろさを実感しています。

今年はスタッフとして参加していますが、講座の運営方法等、受講生の時とは違った内容を学ぶことができます。

第3次男女共同参画プランの主な進捗状況

- 審議会（※2）等委員の女性委員の割合 平成25年度↓28.8% 平成28年度↓27.4%
- ※2…市政に関する特定のテーマについて専門家や市民の意見を聞くための会議のこと。
- 市民参加パートナーバンク（※3）登録者▼平成25年度↓117人 平成27年度↓17人
- ※3…市の方針・政策決定過程

への市民参加を促進するために、人材を登録したものに、体験しよう！親育て教室 参加者▼平成25年度↓400人（うち夫112人） 平成27年度↓497人（うち夫141人）

- 育メン広場 参加者▼平成25年度↓親子270人 平成27年度↓親子398人

問▼市民協働課
（☎71）2218

新しい計画策定のための アンケートにご協力ください

今回紹介した「安城市市民協働推進計画」「第3次安城市男女共同参画プラン」は、策定から3年が経過し、それぞれの課題が見えてきました。

判明した課題や新しい問題を解決するために、現在それぞれの新しい計画である「第2次安城市市民協働推進計画」「第4次安城市男女共同参画プラン」の策定を進めています。

新しい計画の策定にあたり皆さんの意見を伺うため、7月に市内在住者・事業者・町内会等を対象にアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。

